城南中学校区学校再編整備方針及び統合実施計画(案)に関する説明会 開催結果

日 時 : 令和6年5月9日(木)

18時30分から20時25分

場 所 : 寄居町立城南中学校(オンラインで同時配信実施)

参加者 : 58名(会場35名、オンライン23名)

(会場内訳)

● 一 般:25 名(折原地区 14 名、鉢形地区 10 名、その他 1 名)

● 議会関係:2名

● 学校関係:8名

出席者 ・峯岸町長

- ・関根教育長
- · 大野教育総務課長
- ・塩川教育指導課長
- ・倉田教育総務課主幹

会議次第

- ① 開会(峯岸町長挨拶)
- ② 説明(城南中学校区学校再編整備方針及び統合実施計画(案)について)
- ③ 質疑応答
- ④ 閉会(関根教育長挨拶)

配布資料

城南中学校区学校再編整備方針及び統合実施計画(案)

No.	質問・意見	町の考え方
1	○質問者(男衾地区) 方針案の令和 10 年度の開校スケジュールは、他の自治体と比較して早くないか?	○大野教育総務課長 先行事例では、同等のスケジュールや基本設計の前に、基本計画を作成している市町村もある。 町では、令和5年度に実施したワークショップ会議での意見を基本計画に置き換えれば、5年間で開校を目指すスケジュールとなり、決して早いものではないと考えている。
2	○質問者(男衾地区) 新校舎の教室のレイアウトについて省エネ等の観点も踏まえて検討いただきたい。	○大野教育総務課長 中学校校舎の東側スペースに建設する場合、 北側にも教室を一部配置する可能性がある。 その際は、光を取り入れる工夫や、太陽光発 電、省エネタイプの設備等も検討する。
3	○質問者(男衾地区) 現在の案では、小学校・中学校に対してプールは一つだが、支障なく水泳の授業が行えるのか?	○塩川教育指導課長 異なる学年が同時にプールを使用している実態もあり、可能であると考える。 また、教育課程を定める中で、プールの使用についても配慮する。
4	○質問者(鉢形地区) 統廃合により地域の過疎化が進行するのではない かと危惧している。過疎化が進まないための施策 も併せて検討していただきたい。	○大野教育総務課長 廃校となった校舎・跡地利用については、広い 視野で検討していく必要があるので、地域の 皆さんの意見を聞きながら、検討を進めてい きたい。
5	○質問者(鉢形地区) 児童生徒数の推移では、子供の数は年々減少し、 町全体の人口も減少している。 そうした中で、町として人口増加に向け、どんな 政策を行ってどのような成果があったのか?	○ 峯岸町長 町の人口は、平成 12 年の 3 万 8500 人をピークに減少しており、平成 10 年以降転出超過が続いていたが、令和 5 年度は転入超過に転じた。 要因は様々だが、寄居駅南口の整備や男衾駅の整備及び住宅開発が進んでいる。さらに、企業誘致関連の問い合わせも増えている。人口を維持するためにも働く場を確保していく。さらには、新規事業として、結婚支援に向けた取組を始める。様々取組を行っており、ご理解いただきたい。

6	○質問者(鉢形地区) ワークショップ会議の進め方について、町から3 つの案が示され、案2の城南中学校の敷地内に新校舎を建設するという案に誘導された感じがした。	○大野教育総務課長 この3案は、令和4年度に実施した調査業務 において、現状の課題に対する対応策として まとめた案であるが、会議を進めるに当たり、 案がないと検討も進まないという意見もあり お示しした。 ただ、町が示した案に縛られることのないよ う、第4案として「その他」をお示し、検討い ただいた。
7	○質問者(鉢形地区) 学校の統廃合の当事者は子供になるので、子供の意見をしっかりと聞いて反映していただきたい。	○大野教育総務課長 児童生徒に対するアンケート調査を実施した が、最終的な判断は、我々大人がしっかりと考 えて、責任を持って結論を出すことが大切で あると考えている。
8	○質問者(鉢形地区) 児童生徒アンケートについて、折原小学校と鉢形 小学校で児童が感じる不安や考え方に違いがあっ たのか?	○大野教育総務課長 内訳については手元に資料がなく、正確な数 字は申し上げられないが、両校とも同様の傾 向であったと記憶している。
9	○質問者(鉢形地区) 折原・鉢形の2校体制での職員数と集約された学校での職員数では先生方の人数は減少すると思われるが、少なくなった分の先生方はどのような対応になるのか?	○大野教育総務課長 教職員数については、統合小学校開校時点で の児童数により配置の人数が決まるので、現 時点で人数は申し上げられない。
10	○質問者(鉢形地区) 集約に当たり、校舎の建設やスクールバスの運行 等において環境への配慮を考えているか?	○大野教育総務課長 近年は、公共施設においても省エネ等環境へ の配慮が求められており、しっかりと検討し ていく。
11	○質問者(鉢形地区) 町へ転入する理由の一つとして豊かな自然がある と思う。大企業の誘致により開発が進み、自然が 脅かされないか心配である。	○峯岸町長町の一番の財産は自然である。自然を壊して、大企業を誘致しようという考えはない。有効活用されていない未利用地を活用しながら、バランスよく充実させていく。
12	○質問者(鉢形地区) 人口の流出を防ぐために、深谷市でも保育料を無 償化にしているが、町でも給食費完全無償化など の先進的な取組を行うことで子育てしやすい環境 を確保していただきたい。	○峯岸町長町でも、経済的にお困りの家庭などは、既に無償化している。教育政策については無償化だけでなく、子供たちの成長にとって大切なものに対し取り組んでいきたい。

13	○質問者(折原地区) 小中一貫校として成功している事例があれば教え ていただきたい。	○塩川教育指導課長 近隣で小中一貫教育の推進事業モデルとして 取り組んでいる事例として、嵐山町の菅谷中 学校区、熊谷市の妻沼東中学校区。また町でも 視察を行った坂戸市の城山中学校区などがあ る。
14	○質問者(折原地区) 統合実施計画案について、まだ話し合ったほうが 良いのではないかと思う。再度説明会を開催する 考えはあるか?	○大野教育総務課長 方針及び統合実施計画案は、ワークショップ 会議での最終結果をベースに作成しており、 その意見を反故にして方針を変更することは できないと考えている。 そのため、方針説明としての説明会は本日が 最後とさせていただきたいと考えている。
15	○質問者(折原地区) 本日の資料として配布されている実施計画案も多くの方が目にしていないと思う。 そのため、今日の資料を各家庭に配布し、その後に再度説明会を開催してもらいたい。	○大野教育総務課長 折原小学校の複式学級の解消は、1日でも早く 解消すべき課題であるため、実施計画案は、考 え得る最短の期間で設定している。 周知期間という面では、足りない部分もあっ たかもしれないが、方針案の説明としては、本 日限りということで、ご理解をお願いしたい。
16	○質問者(折原地区) 子供を対象としたアンケート調査を実施したとのことだが、保護者に対する調査を実施しなかったことに疑問を感じている。	○大野教育総務課長ワークショップ会議にPTAの代表として12名の方にも出席いただいていることから、アンケートは実施していない。
17	○質問者(折原地区) 中学生と同じ敷地内で過ごすことで、小学校低学年の子供たちが恐怖を感じることもあると思う。また、校舎の配置図では、小学校校舎が敷地の一番東側に配置されており、体育館やプールが一番遠い場所にあるため、短い休み時間での移動は、子供たちにとっては負担になると思うので、小学校用の体育館も整備していただきたい。	○大野教育総務課長 小学校と中学校で分けられるものは分ける、 また動線を分けるなど、ご心配については、解 消できるよう努める。併せて、設備関係は、統 合準備委員会でしっかりと運用面も検討す る。
18	○質問者(折原地区) 折原地区は自然環境豊かで、とても住みやすい場所である。なぜ今この地域の小学校をなくそうとするのか。そんなに早く進めようとするのか疑問である。出生率などで今後の小学校の児童数の見込みがどのような状況にあるのか?	○大野教育総務課長 折原小学校は、令和7年度が52人、令和8年 度が53人で横ばいでの推移。鉢形小学校は、 令和7年度が239人、令和8年度が218人 で、減少傾向での推移となる見込みである。

19	○質問者(折原地区) 小学校と中学校を別の敷地にしてほしいという意 見があったが、別の敷地に建設することの難しさ は何か?	○大野教育総務課長 城南中学校の敷地は、4万5000㎡を有している。公共施設を管理する上で、敷地を有効活用 することは、大変重要なことである。 隣接した敷地を購入する場合、新たな財源が 必要となり、城南中学校区だけではなくて、町 全体への影響も発生し、他の地区の皆さんに も説明責任が生じる。
20	○質問者(折原地区) 小学生と中学生が同じ敷地内で学校生活を過ごす ことについて、学校現場の方々はどのように感じ ているか?	○塩川教育指導課長 統合に当たり、様々な不安があると思うので、 統合準備委員会での協議において、生徒指導 に関すること等、様々予見できる課題につい て、一つ一つ丁寧に検討していく。
21	○質問者(折原地区:オンライン参加) 再度の説明会については、実施する予定はないと のことだが、進捗状況等は定期的に報告をしても らえるのか?	○大野教育総務課長 進捗状況については、説明会の開催も検討し ているが、地区回覧や、ホームページ等、様々 な手段を用いて情報共有を図りたい。
22	○質問者(鉢形地区) 本日の出席者数は、城南中学校区の住民のうち、何パーセント程度になるか?本日の出席状況で、住民に説明しましたというのは疑問に感じる。	○大野教育総務課長 出席者数の割合は、全体人口の資料がないためお答えできない。全ての意見を吸い上げてきたものではないかもしれないが、各団体の代表が話し合った結果をベースとした方針案であるので、ご理解いただきたい。
23	○質問者(鉢形地区) ワークショプ会議での意見は決定事項ではなく、 政策に反映されるものではないとの説明のもと行ったと認識している。結果的には、ワークショッ プ会議でまとめた意見が実施計画となっていることに疑問を感じる。	○大野教育総務課長 最終的な結論は町、教育委員会で決定するため、ワークショップ会議ではその方向性を話し合っていただきたいと説明している。 そのため、基本的な方向性については、地区の代表である皆さんの意見に基づいて、町、教育委員会として責任を持って方針案を作成した。
24	○質問者(鉢形地区) 学童の利用者も増えている。学童施設についても検討をお願いしたい。	○大野教育総務課長再編整備の中で学童施設についても一緒に検討していきたい。
25	○質問者(折原地区) 今回の件に関して、コンサルタント会社に委託しているのか?	○大野教育総務課長 方針及び実施計画案の作成に当たっては、コンサルタント会社は入っていない。教育委員会内で検討して、冊子にまとめた。

26	○質問者(男衾地区) 本日の質疑を聴くと、我々と町とで温度差があると感じられる。こうした状況を踏まえて今後どのように進めていきたいか、町長の考えを聞きたい。	○ 峯岸町長 地域の良さを生かしながら、より良い教育環境の中で、子供たちの教育を行っていきたいというのが、今の正直な気持ちである。これから準備期間が数年あるので、その中で懸念材料をしっかりと解決し、城南地区から町の新しいモデルを作っていきたい。時代が大きく変わっていき、環境も変わっていく中で、第一には今学んでいる子供たち、更には、これから学校で学ぶ子供たちにとって、また、子供が大人になってしっかり生きていくために、そのことを第一に考え、一生懸命取り組むので、是非ご理解のほどお願いする。
27	○質問者(折原地区) 小学校校舎と体育館の位置関係については、検討 の必要性を感じる。中学校の校舎を通ることに対 する安全性はどうなのか。同線の確保と安全性の 確保が課題であると感じている。	○大野教育総務課長 今後、設計業務を進める上で、移動の動線についても統合準備委員会に諮りながら十分検討していきたい。
28	○質問者(折原地区) ワークショプ会議のメンバー選定について、参加する PTA の代表と町とで認識のずれがあったのではないかと感じている。我々は保護者の代表という立場ではなく、PTA総務部の仕事として参加をさせていただいたと認識している。 今後、準備委員会の委員の選定に当たっては、認識のずれが生じないようしっかりとした説明を踏まえた上で、保護者の代表として参加いただける方を選定していただきたい。	○大野教育総務課長 今回のワークショップ会議のメンバー選定時において、会議の中での役割や、会議結果がどのように反映されるかについて説明が不足していた部分もあったと思う。 それを反省点として、統合準備委員会については、会議の趣旨説明や、その結果がどのように反映されるかについて丁寧に説明した上で、代表の方を選定していきたい。

※ 読みやすさを優先するため、文脈を変えない範囲で、発言の文字数を減らしています。 また、「です・ます調」を「である調」に変えてあります。